



川の中、どんな虫たちがいるんだろっ？

川の虫たちをさがしてみよう！ 水の「きれい度」がわかるぞ。

川の中には、どんな虫たちがすんでいるんだろっ？ どうやら、水がきれいか・きたないかで虫の種類もちがうようだ。…というところは、どんな虫がいるかを調べれば、水の「きれい度」(よけれくあい)がわかるということだね。

「水質マップ」をつくりたい

「この川の水は、みんな、川の虫さがし！」上流・中流・下流。いろいろなところで虫を調べると、川の中のあたりがどのくらいきれいなかわかる。みんなが調査をしてくれると、川虫による群馬の川の水質マップをつくることができると。たくさん参加を待てるよ！

参加してほしいのは、群馬県内の小・中学生たちさあ、みんな近く川へ。おっと、その前に、**かならず学校の先生に相談してね!** (下の段を読んで) みんなの力で、どんな「水質マップ」ができるか、その結果は、「利根川ダム資料館」4ページで紹介して展示発表する予定です。



用意するもの

・たもみえのついたあみ、あみは目細かくてじょうぶなもの
・軍手
・温度計
・ピンセット
・ルーペ(虫めがね)

・プラスチックや金ぞくのトイ(四角い大きなおさま) またはプラスチックの水そう
・図かん
・ノート(筆記用紙)
・カメラ、またはスナッチ手帳と色えんぴつなど

とり方

川の浅いところで、手ごさなさいの石持ち上げからくらの石を見つけたら、



調べ方

あみをかわりに引きあげて、あみの中の虫たちをピンセットでつまんでトイまたは水そうに入れてみる。

その石の下流に、あみをおく。あみは水の中に入れて、口を石のほうに向けよう。
石の表面を軍手をした手で念入りにすく。石をうらえして、きつ一度にあげる。
こすると、石についていた虫たちがはがされ、水に流されて、あみの中へ入っていく。



どんな虫たちがいるか、ルーペで見ても、図かんなどで名前を調べてみよう。
カメラで写真をとろう。または、色えんぴつなどでスケッチしてみよう。
虫の種類とかまえた場所や日付、時間、気温・水温をメモしよう。
虫の色や、においなどをメモしよう。
かんさじするんだら、虫がすまってる川がえしてあげよう。



「川の虫さがし」調査のしかた
この企画は、学校の先生に話をしてあるので、かならず次の方法で調査してね。
学校の先生から、記録用紙をもらう。
先生やおとうさん、おかあさんなど、おとなの人と一緒に川へ調査に行く。
「記録用紙」に調査結果を書いて、先生にわたす。
あとは、先生がまとめて、新聞社まで送ってくれるよ。
ぼくがに子たちだけで調査に行かないこと、かならず先生と一緒に行こう。
応募のしめきりは7月30日(火)です。
(注)口流印刷用紙

こんな虫たちがいたら…水は「このくらいきれい(きたない)」

いろいろ、どんな虫がいたら、その水はどのくらいきれいなかわきたないのか。水のきれいか、きれいではないのか、その水質を「指標生物」で調べられて、いかにきれいな水か、その代表的な虫たちをさがしていきましょう。

